

ゆるるる
月刊



ふきのとう



冬の寒さにじっと耐え
春になるのを待っていました。



きのこの

ふきのとう味噌の作り方

春の野草や山菜の苦みは 冬の間に溜め込んだ体の毒を出してくれる効果があります。積極的に食べましょう!!

最後の
おまけ
だよ!!

① ふきのとうは
さっとゆでて
冷水にとる。

※ゆですぎると
香りがなくなるよ!!

② 水気をしぼって
細かくきざむ。

・味噌 (お好みのもの)
・さとうとハチミツと酒
・すりゴマ (白)
くるみかピーナツバター



③ へらで混ぜた
から弱火にか
ける。だんだん
ツヤが出てくる。



きのこ

特集 ゆるる的異論・提案・オブジェクション

- あなたの声を次の世代へ 伊藤 清市
- 何はともあれ、心と体が健康でなければ始まらない 黒森 きのこ
- 卒刊にあたり この20年で市民意識は醸成してきたのか 大久保 朝江

みやぎNPOプラザからのお知らせ

2/17開催 Nカフェ Part2～NPOを知ってボランティアを始めよう～

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



あなたの声を次の世代へ



月刊社の伝言板ゆるる立上げメンバー
NPO法人仙台バリアフリーツアーセンター理事長

伊藤 清市

●●● 仙台の歴史を創ってきた障害者 ●●●

「勾当台公園、勾当台公園、出口は右側です」と流れるおなじみの地下鉄アナウンス。日々当たり前のように聞き流してしまいましたが、その地名の由来をご存じですか。

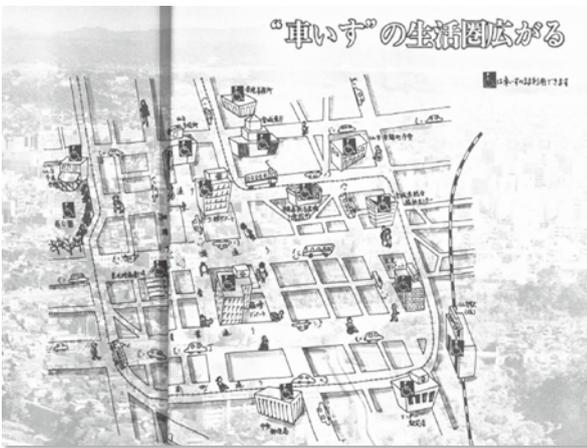
「勾当」とは盲人の官職である盲官の位の一つで、検校、別当に続く三番目の序列(最後に座頭です。座頭市で有名ですよ)。その官位をもち、伊達政宗公に寵愛された盲目の狂歌師「花村勾当」の屋敷がこの地にあったことが由来とされています。

また、訪れた店に商売繁盛を招いた「仙台四郎」は知的障害があり、会話能力が低かったと言われていますが、亡くなった後も肖像画が仙台市内の店舗に飾られ、今では商売繁盛の福の神として押しも押されぬ仙台の大スターです。このように、仙台の歴史を紐解くといわゆる障害者の活躍が方々に見受けられます。

●●● 生活圏拡張運動 ●●●

時代は進んで昭和四十年代後半、高度成長期の影で公害問題が表面化し、トップダウンの都市計画が

らボトムアップのまちづくりが叫ばれてきた頃、仙台では「みんなと同じように街に出たい」という障害者自身の声が介助者や支援者を巻き込み、店舗や公共施設の入口に簡易スロープを敷設する「生活圏拡張運動」が起こりました。この取り組みは当時入所施設や家族の庇護の下に置かれていた全国の障害者に大きな影響を与え、瞬く間に全国に波及し、一九七三(昭和四十八)年、全国の車椅子ユーザーが一同に会する「車椅子市民全国集会」が仙台で開催されます。その運動に応えた仙台市は同年厚生省(当時)から全国初の「身体障害者モデル都市」に指定され、障害者を主体とした住民が国



▶昭和四十八年 仙台市街車いす用トイレマップ

◀西公園の中も安心して散歩できる



をも動かしした歴史として、仙台は「福祉のまちづくりの発祥の地」と呼ばれるようになりました。

あれから四十五年。建物や交通機関等のバリアフリー化が飛躍的に進み、仙台市地下鉄東西線は全国屈指の乗りやすさとして国からの表彰を受けました。一方、心のバリアフリーにおいては二〇〇一(平成十三)年の宮城国体や障害者スポーツ大会、そして手前味噌ながらとっておきの音楽祭などの開催により、市民の意識が醸成されてきたと実感します。

しかしながら、今に生きる私たち障害者の暮らしは本当に豊かになり、差別のない社会になったのでしょうか。

●●● 根強く残る優生思想 ●●●

先月号でもコッペの飯嶋さんが書いていらつしやいましたが、一昨年七月、神奈川県相模原市で起きた障害者施設での大量殺傷事件。この事件は障害がある人のみならず、国民全体に大きな衝撃を与えました。犯人の「障害者なんていなくなればいい」という言葉は障害者である私たちの心に突き刺さり、「次は自分が狙われるのではないか」と街へ出かける度に周囲を警戒するようになり、実生活を脅かされるようになりました。さらには事件の被害者が実名報道されず、「私たちがいなかったことにされる」という障害者自身の声も噴出し、障害者が社会に存在する意味を大きく問われた事件になりました。

また、先月全国初めての訴訟が提起された旧優生保護法の強制不妊手術。「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」を目的としたこの法律は、一九九六(平成八)年に母体保護法に改正されるまで、本人の同意無しに数多くの手術が行われるとともに、一九六〇年代には当時の宮城県議会議員が行政施策を後押しするなど、まさしく人権蹂躪(じゅう

りん)の実態がようやく明らかになつてきております。

このように、ダイバーシティ(多様性)やボーダーレス(脱境界)という言葉が飛び交う現代社会の中で、あまりにも前時代的な思想や事件が私たちの周りに巻き起こっています。

●●● あなたの声を次の世代へ ●●●

二〇〇六(平成十八)年、国連で採択された「障害者の権利条約」成立過程において、「私たちの事を私たち抜きで決めないで(Nothing About Us Without Us)」というスローガンが掲げられました。とはいえ、障害者が社

会に向けて声を上げるといのは本当に勇気のいることです。

昨年暮れには、仙台市在住の車椅子利用者が、新幹線に乗ろうと、JR東日本に対し障害者差別解消法による合理的配慮を求めたところ、規格外の車椅子だからと乗車拒否される事案がありました。結果的には無事に乗車できたのですが、紋切り型で乗車を拒否するJR側からの説明に、粘り強く交渉したご本人の声が合理的配慮の提供に繋がりました。

また、強制不妊手術で提訴した女性の代理人は提訴後の原告側会見で「苦しんで、ひた隠しにして生きてきた。今でも(社会の中に)優生思想が残っていると感じています。だからここまで来ました」(毎日新聞二〇一八年一月三十日)と仰っていました。その一声を発したご本人の勇気に敬服いたします。

このように、勇気を振り絞り社会を変える行動を起こした方がいらつしやる中で、まだまだ自分の声の足りなさを痛感するとともに、もっと多くの方に声を上げていただきたいと思ひます。もちろん、声の上げ方は人それぞれです。意思の表示が難しい方も当然いらつしやいます。関係者の皆さん、ぜひ当事者の意思決定を支え社会に

向けて代弁していただきたいと思ひます。

先達から受け継がれてきた当事者運動。あなたのひと声が、勇気が、社会を動かした次の世代へと繋がります。

●●● ゆるるの卒刊に際して ●●●

最後に、ゆるるの卒刊大変残念です。東北福祉大学在学中、現NPO法人全国コミュニケーションライフサポートセンターの池田昌弘さんからお誘いを受け、当事者だからこそ何かできることがある、他分野にも視野を広げたいとの思いから、ゆるるに参加したと同時にNPOの世界に飛び込みました。

せんだんの杜の一角をお借りして編集作業していた日々、大久保さんやすでにNPO活動をされていた皆さんに取材の仕方、原稿の書き方を教えていただいた。編集からは離れましたが、今も活動を続けていられるのはゆるるがあったからこそです。

あれから四半世紀、今や百花繚乱のNPO界隈ですが、中間支援組織としてのゆるるの役割は高まるばかりです。ゆるるの益々のご発展をご祈念申し上げます。



▶歩道の切り下げが進み、生活圏もますます広がる(一番町四丁目商店街)

何はともあれ、 心と体が健康でなければ 始まらない



月刊ゆるる表紙イラスト担当
記者ボランティア

黒森 きのこ

ゆるるが、なくなるんだな

月刊ゆるるの表紙イラストを長年にわたり担当してきました。いつも毎月のテーマに合わせて考える絵の中に物語を想像して描いていました。絵は描き続けたいと上手くならないので、ずっと任せていただき描くことを続けられて感謝しています。でも本当にもう月刊ゆるるがなくなるんだな、もう描くことはないんだな、と思うと悲しくなってきました。

記者ボランティアもさせていただきいるんな団体を取材しました。なかでも「動物を巡る幸せな話・不幸な話(二号にわたる企画)」は、大切な家族として犬と暮らしている私にとって渾身の記事であったと思っています。

私はNPOではありませんが、小さなカフェを起業し、今春で九年になります。常に明日はどうなるかわからない不安を抱えながら走り続けてきました。カフェなんてあってもなくてもいいもの。腹の足しになるわけでもない。もちろん社会的ミッションとかありませんから、何の支援も援助もありません。すべて自分で考え実践して持続可能な経営をするしか存続の道はありません。お客様に何度

◀店長犬「モカ」と筆者の自画像



も足を運んでもらうには、満足してもらうには、喜んでもらうには、ファンを増やすには、どんな工夫が必要なのか常に考えています。とにかく「始めることより続けることの方が難しい」のです。

会費だけでは足りない月刊ゆるるの発行費用を捻出する努力を続け、毎月の締切に追われる精神的苦痛もあるなかで、諸事情で離れていった人たちの思いも背負い、大久保さんの使命感と意地と根性で設立時の意志を貫いてこられたわけです。脱帽です。もう長い間本当にお疲れ様でしたというよりほかありません。個人的には、認定NPO法人杜の伝言板ゆるるを後世に引き継いだ後、大久保さんは、次は何を始めるのだろう、と気になっています。

過去の闇の中の自分

山形大学農学部を卒業したばかりの全く無能な社会人一年目にNPO支援センターの常勤スタッフとして働くという人生の転機が訪れました。ゆるるで記者ボランティアをしていたことがきっかけです。仙台市に初めて公設民営型の、NPOが受託・運営する仙台市市民活動サポートセンターができ、その初代スタッフに採用されました。無知だったゆえに多くのことを学び吸収しました。振り返ると、個性溢れる上司と同僚らに囲まれ、男女平等の恵まれた環境で大いに飛躍したんだと思います。それからスポーツ系NPOの常勤職員、民間企業でコピーライター、家庭教師といろんな経験を積みました。

ところが、あの頃の自分がかむしゃらに頑張っているんだけど、何か空回りしていて仕事も人間関係もどうも上手くいかない。自然が好きで自然の中に暮らす生き方に憧れ、いつか緑豊かな古民家を再生し、カフェを営み自給自足的に暮らしたいという目標を持って、いろいろ努力しているつもりだけども実現もできず、人生を楽しむとて、ただ悶々としていたと思います。

この20年で市民意識は醸成してきたのか



月刊社の伝言板ゆるる編集長

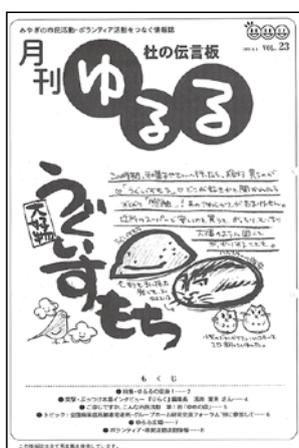
大久保 朝江



▲創刊200号



▲創刊100号



▲紙面改革した1999年4月



▲1997年6月の創刊号

一九九七年六月に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは、今月号をもって「卒刊」します。

振り返って、「よく二五〇か月にも亘って、毎月、発行できたな」というのが正直な感想です。私が編集長になったのは、一九九九年一月から。それまでの収支が三十万円の赤字になっていたのを受けて、発行体制を事業型に変えました。以降、月刊ゆるるの発行経費を捻出すべく、様々な事業を生みだしてきました。

月刊ゆるるの紙面改革は一九九九年四月号からですが、大きく変わったのは二〇〇二年五月からフリーペーパーにしたことです。発行部数を五、〇〇〇部に増刷し、無料で配布を始めました。それは、前年四月からみやぎNPOプラザができ、同時にNPO支援情報Webサイト「みやぎNPO情報ネット」が公開され、そのWebサイトの運営を社の伝言板ゆるるが受託したことで、情報を資金に変え、雇用を生みだし、情報誌を発行する環境が整った結果でした。部数を増やしフリーペーパーとなったことで、広告と企画ページを有料で提供することも可能になり、年間でバックページの広告やみやぎNPOプラザとみやぎボランティア総合センター「こ・ら・ぼ」へのページ提供を契約することができました。

翌年からは情報誌をフル活用したの事業を開発し、二〇〇三年から「高校生の夏ボラ体験」も始まりました。この事業は十五年も継続しています。

新聞でも多様な分野のNPO活動が掲載されるようになっていく中

創刊した一九九〇年代は、市民活動のニュースがメディアにあまり出てこないという環境だった上、そのような活動に関心の薄い市民の中で、「関心を示した市民を団体同士ボランティアとして奪い合うようなことでは先がない。もっと広く市民活動の意義を伝え、理解を広げていくことが大事ではないか」とはじまったのが「月刊ゆるる」であり、一九九八年十二月に施行された特定非営利活動促進法が追い風となって、市民活動・NPOの支援が急速に進んでいった流れに「月刊ゆるる」の発行も乗ったのです。

しかし、ここ十年の間に広告の契約が減少するほか、「こ・ら・ぼ」の撤退など、収益が減少し、発行経費を捻出す負担が大きくなりました。ここ数年、当法人の理事会で対応を検討してきた結果、現状での発行を断念するに至りました。

●●● 発信しなかったこと ●●●

で、月刊ゆるるがこだわったのは、「継続の姿」でした。特にニュース性もなく、華々しい成果を上げていくわけではない地味な団体が、実は地域の課題を抱え悩んだり、苦しんだりしている人々に寄り添い、可能な限りその悩みや苦しみを軽減する活動を続けているという姿です。

斬新さや目立つ方法でニュースに取り上げられるNPOは注目されますが、それが無いいつも通りの活動を続ける人々がいるお陰で、その地域の生活環境が保たれている、悪くならずすんでいる、という活動を情報誌に取り上げること、その団体にとっては活動を認めてもらい、力となり、さらなる継続へとつながると確信しています。

そして私たちは、この情報誌を見て、市民も行政も企業も、何らかの行動につながり、市民活動団体・NPOの活動に参画していくことを期待しています。つまり情報誌は、きっかけづくりのツールなのです。

これまで二十年以上、そのように思って毎月発行してきたものとして、現状はどうなっているのか、理解が進んでいるのか、担い手が増えているのか、応援する市民が増えているのか、が気になっているところなのです。

●●●● NPO、社会変革を忘れていないか

この二三年、市民参画型のNPOより、事業型NPOが増えています。NPOは課題を抱える人や地域に対して解決に向けてのサービスや制度事業を実施するのは当然ですが、一方で、課題である現状を変えていくためには市民の意識や制度の改革に取り組むことが無ければ、根本的な課題解決になりません。

しかし、今、事業型NPOは事業の開発や収益の拡大などが注目され、「見える化」する数字での成果を出してはいるものの、ではその課題を改善するための市民による社会変革への活動をしているのかといえ、その視点がない団体が結構多いのではないかと、日頃の団体支援を通じて感じています。非営利を強調する一方、市民参加性を忘れているNPOの増加によって、組織の責任体制や資金運用の情報公開がなく、信頼性を高める結果とはなっていない現状があります。

私たちが支援してきたのは、そこではないのです。実際に現場で困っていることに取り組み、活動を継続していく団体があることで、それ以上課題が大きくなる人、あるいは生活が維持できない人

がいるという、大きくはないが顔が見える寄り添いがどんなに地域にとって重要か、その担い手は無くしてはいけない！と市民一人一人に感じてもらい、ひいては参加してもらい、資金や人の支援につなげていきたいと思います。

●●●● 評価の時代が来た

NPOは、活動をするための資金として会費や寄付、補助金、助成金、委託金など、多様な資金を活用しています。そしてそれぞれの資金元が出資を決定する際は、事業の計画書や資金計画を見て決定します。審査委員会を設置しているところもあれば、直接ヒアリングをして決めるケースもあります。いずれもその事業が必要なのか、ちゃんとできるのか、お金の積算は妥当なのかなどを考慮して決めることとなります。ある意味、結果を想定して賭けるという感じです。

その結果、期待通りに進め、変化したのかを出資元に報告することになります。この変化をもっとわかりやすく明確に見せることが求められるようになってきました。そのこと自体、自分たちのお金ではない、他の資金を得て活動する場合は当然のことですが、こ

の評価の在り方が一つではなく複数あり、活動内容に合わせて選択できるものであってほしいと考えます。より成果がわかりやすい数字で出せるものだけが評価されていくようでは、地道に社会の底辺を支えている活動や時間がかかる教育の分野が評価されにくく、その担い手のモチベーションを維持できないことにもつながり、活動者も減ってしまつことにもなりかねません。

NPOにとっては、活動の意義と目標、その検証と共にさらなる改善策を重ねて、課題を抱える人々への貢献を目指していく活動こそ、多くの市民の共感に繋がりが、支え手にもなっていくことを忘れてはいけません。

これまでNPOの情報発信支援として発行してきた月刊ゆるるは卒業しますが、市民活動・NPOの活動の継続により、社会的課題を改革・改善していく活動をいつまでも応援していくことに変わりはありません。これからも市民の生活環境を改善していくために、市民が自ら活動し、それに市民が寄付で応援する社会を目指して、ゆるるも活動していきます。

二十年以上も情報誌の発行にご協力くださった皆様に感謝しつつ、卒業します。ありがとうございました。

2/17開催!!

Nカフェ Part2

～NPOを知ってボランティアを始めよう～

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザでは、十月に引き続き、NPOで活躍する人をゲストに迎え、市民が市民活動に関心を持ち、ボランティア活動に参加するきっかけにしてもらうと、「Nカフェ Part2」を開催しました。

人と人、地域をつなぐ

最初にNPOやボランティア活動について学んだ後、実際にNPOで活動している方々から、活動を始めた経緯ややりがい、ボランティアの関わり方などを話してもらいました。

今回のゲストは、家庭の事情や病気などで小・中学校時代の基礎的学習が不十分のために学びなおしたいという人たちに学びの場を提供している「仙台に夜間中学をつくり育てる会」の中澤八榮(やさか)さんのほか、子どもも高齢者も障がいを持つ方も、地域のみんなが気軽に交流し、支え合う場を実現したいと活動を始めた「NPO法人FOR YOU」にここの「家」の小岩孝子さん、そして子どもたちに失敗や成功の経験を通して、生きるために必要な力を身につけるための遊び場づくり活動

行っている「認定NPO法人冒険あそび場せんだい・みやぎネットワーク」の根本暁生さんと岩渕健史さんの四人でした。それぞれ子どもや高齢者など活動の対象や手法は異なりますが、どの団体も人と人のつながりを大切に、地域に根ざした活動を目指しています。

スキルより大切なこと

ボランティア活動や市民活動に関わる上で重要な点は、「自発的であること」。そのため、Nカフェでは、一方的にゲストの話聞くだけでなく、直接参加者から、そ

それぞれの視点で質問をする時間を大切にしています。

今回は高校生から七十代と幅広い層の参加がありました。参加者からは「社会のために何かしたい」とNPOやボランティアがどんなものか気になっているけれど、何をどう始めたらいいのかわからないので参加しました」という声が多く聞かれました。ゲストからは「ボランティアは何か特別なスキルや特技などは必要ありません。『その人の存在』『その人が来てくれる』ということが重要なので、まずは自分がどんな活動に興味があるか見つけてください」とアドバイスがありました。

市民の力で社会を変える

社会や地域を変えられるのは、国や県、企業に加え、市民の力が欠かせません。社会の課題に気づいて行動する市民の声が集まることで、社会を変える原動力になります。

みやぎNPOプラザでは、今後市民活動やボランティア活動に対して、ちょっと敷居が高いなど躊躇している方々が一歩踏み出す場づくりを続けていきます。



▶盛り上がる質問タイム

プラザのNPO向け講座・相談

今から準備を!
NPOのための総会運営講座 3月16日(金) 14:00~16:00

NPOのための会計監査講座 4月18日(水) 13:30~16:30

NPOのための会計税務相談 3月20日(火) 13:00~17:00(3団体先着)

法人設立・団体運営相談 毎週水曜日 13:00~17:00

認定NPO法人申請相談 事前に相談希望日をお知らせください。

お申込みはコチラから

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
指定管理者: 認定特定非営利活動法人
社の伝言板ゆるる

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎ地域復興支援助成金 平成30年度総合タイプ事業

- 助成対象：①地域資源を活用しながら被災地域の地域課題の解決を目指す事業
②被災者を対象としたボランティア活動等被災者支援に特化する事業
③被災地の空き家等既存施設を改修した拠点を活用し、復興を推進する事業
- 対象団体：①NPO等(※)、独立行政法人等、企業、市町村、任意団体等
②NPO等(※)、任意団体等
③NPO等(※)、独立行政法人等、企業、市町村
※NPO等：NPO法人、公益法人、社会福祉法人、学校法人、協同組合等の民間非営利組織
- 助成金額：①事業費上限1,000万円(任意団体等300万円)
②300万円
③1,300万円(うち施設改修費上限600万円)
※①～③助成率については下記URL参照
- 応募締切：3月22日(木) 17:00
- 連絡先：宮城県震災復興・企画部 地域復興支援課 復興支援第二班
TEL：022-211-2424
URL：<https://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/miyagitiikihukkousienjyoseikin.html>

第30回 地域福祉を支援する「わかば基金」

- 支援内容：①支援金部門
対象：国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ。
助成金額：1グループにつき、最高100万円
- ②リサイクルパソコン部門
対象：パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組み、台数を増やすことで、より高齢者や障がい者に役立ち、活動の充実を図れるグループ。
贈呈台数：1グループにつき、3台まで
- ③災害復興支援部門
対象：東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた災害の被災地域に活動拠点が有り、その地域の復旧・復興をすすめているグループ。
被災地に必要な新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ。
助成金額：1グループにつき、最高100万円
- 対象団体：地域に根ざした福祉活動に取り組むグループ(法人格をもつグループは対象外。ただしNPO法人は申請可)
- 応募締切：3月30日(金) 必着
- 連絡先：社会福祉法人NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
TEL：03-3476-5955(平日10:00～18:00)
URL：<https://www.npwo.or.jp/wakaba>

連合・愛のキャンパ 地域助成

- 助成対象：大規模災害などの救援・支援活動、人権救済活動、環境保全活動、障がいをもった人たちの活動、子どもの健全育成活動、医療・福祉・地域コミュニティ活動、生活困窮者の自立支援活動。
- 対象団体：営利を目的としない、地方連合会の推薦がある団体、連合組合員やその家族、あるいは退職者が積極的にNPOなどの運営に参加している団体が行う事業やプログラム等(詳細は下記URL参照)

※ただし、株式会社など営利を目的とする団体、社団法人、財団法人、社会福祉法人、医療法人、学校法人、宗教法人は対象外。

- 応募締切：3月31日(土)
- 連絡先：※「申請団体・組織」が所在・活動する「地方連合会」までご連絡ください。
(宮城県の連絡先)連合宮城TEL：022-263-9762
URL：<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/campa/2018/chiiki.html>

2018年度(第16回)ドコモ市民活動団体助成事業

- 助成対象：①子どもの健全な育成を支援する活動
②経済的困難を抱える子どもを支援する活動
- 対象団体：活動実績が2年以上ある、民間の非営利活動団体、および任意団体(一部条件あり)
- 助成金額：1団体あたり①上限額70万円、②上限額100万円
- 応募締切：3月31日(土)
- 連絡先：NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
TEL：03-3509-7651(平日10:00～18:00)
E-mail：info@mcfund.or.jp
※条件・応募方法の詳細はホームページをご覧ください。
URL：<http://www.mcfund.or.jp/>

平成30年度街なか再生助成金

- 助成対象：①土地区画整理事業等の面的整備事業の立ち上げに向けた取り組み
②土地区画整理事業等の面的整備事業地区(事業中、事業完了地区)における良好な環境づくりや賑わいづくりに向けた取り組み
③地区内の既存ストックを活かした街なか再生への取り組み
- 対象団体：まちづくりに寄与する活動・運動・事業等を行う、任意団体、NPO法人、協議会、準備組合、まちづくり会社
- 助成金額：1件あたり上限100万円
- 応募締切：3月31日(土) 当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人区画整理促進機構
街なか再生全国支援センター
TEL：03-3230-8477
URL：<https://www.sokusin.or.jp/town/subsidy.html>

平成30年度 タカラ・ハーモニストファンド助成

- 助成対象：日本国内の森林、木竹等の緑を保護・育成するための活動や研究、河川等の整備・環境保全創出のための活動や研究。
- 対象団体：応募要項にある要件を満たす、営利を目的としない個人、任意団体。
※過去にタカラ・ハーモニストファンドの助成を受けていない個人・団体を優先します
(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：総額500万円程度、助成件数10件程度
- 応募締切：4月6日(金) 必着
- 連絡先：公益信託タカラ・ハーモニストファンド事務局
(みずほ信託銀行株式会社 京都支店 営業2課)
TEL：075-211-6231
URL：<http://www.takarashuzo.co.jp/environment/fund/yoko.htm>

- 氏名・連絡先・障害状況を明記)で申込み。
- 主 催：仙台市障害者スポーツ協会
 - 連絡先：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東4-1-1
元気フィールド仙台内
TEL：022-236-8690 FAX：022-236-8691
E-mail：sdsa@pop21.odn.ne.jp

3/30 簡単 ホームページ作成講座

ホームページをつくるのが初めてという方にはお勧めの講座です。最新のサービス(Jimdo)を利用すれば、簡単にしかもほとんど費用をかけないで、スマホにも対応したホームページをつくることができます。

- 日 時：3月30日(金) 10:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 研修室
- 対 象：パソコンの基本操作ができる人
- 定 員：5名(先着順)
- 参加費：4,000円(テキスト代)
- 持ち物：Wi-Fi対応のパソコンをご持参ください。持参できない方にはWindows7のパソコンをお貸します。
- 申込方法：下記URLリンク先にある申込み欄から
- 申込締切：3月25日(日)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連絡先：TEL：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：https://e-eldertohoku.jimdo.com/

4/10 【みやぎNPOプラザ短期ショップ】縫ひの会

被災地で着物リメイクの製作および販売活動を行っている団体です。日本古来の伝統である着物をリメイクし、現代風にアレンジした作品を展示販売します。

- 日 時：4月10日(火)～4月15日(日) 10:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主 催：NPO任意団体絆・想像の翼
- 連絡先：TEL：090-9535-5353(担当：伊藤)

4/15 健康的に歩いて巡る地域の歴史散策 ～仙台三十三観音巡り～

仙台の三十三観音は全て市内の交通の便が良い所にあるにもかかわらず、あまり存在を知られていません。三十三観音札所をマップにしたがって3回に分けて歩いて巡ります。

- 日程行程：◆第42回4月15日(日)第二行程
(12番～25番札所)

「榴岡・新寺・連坊・荒町・木ノ下・札所が多い第二行程地域」
集合場所・時間＝みやぎNPOプラザ・みやぎ婦人会館前 8:45集合・9:00出発

◆第43回5月20日(日)第三行程
(26番～33番札所)
「四郎丸・上飯田・三十三番目札所の向山までは歩く行程が最も長い第三行程地域」
集合場所・時間

- ①JR南仙台駅前1番バス乗場前8:00集合
- ②第31番札所「落合観音堂(四郎丸)」
8:45集合・9:00出発
- ◆第44回6月17日(日)第一行程
(1番～11番札所)
「四季折々の表情を持つ亀岡・新坂・東照宮・本町の第一行程地域」
集合場所・時間＝地下鉄東西線「川内」駅前
8:45集合・9:00出発

- 定 員：50名
- 参加費：楽遊ネットワーク宮城会員2,000円、一般2,500円(レジャー保険料・小冊子含)
- 持ち物：全行程徒歩で廻ります。各自おにぎり持参で歩きやすい服装でご参加下さい。
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。申込み時、参加希望の日程、氏名、連絡先などをお知らせ下さい。
※参加申し込みをした方には詳しい集合場所を連絡します。

- 主 催：NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 連絡先：〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30
角川ビル6階
TEL：022-261-9869 FAX：022-261-0546
E-mail：eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

4/18 【みやぎNPOプラザ短期ショップ】アマニ・ヤ・アフリカ さくら祭り

暖かくなってきた仙台にアフリカの風を吹かせます、ソメイヨシノとしだれ桜が美しい榴ヶ岡へ、お花見がてらアフリカのカラフルな雑貨を見に来てください!定番のアフリカンホットコーヒーとアフリカンスライス入りチャイも販売します。

- 日 時：4月18日(水)～4月25日(水)
11:00～16:30(最終日は15:30まで)
※月曜日は休館日
- 場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主 催：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
- 連絡先：TEL：090-2975-6946 FAX：022-797-9624
E-mail：info@amani-ya.com

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 掲載は無料です!
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。

- TEL/FAX：022-256-0511
- E-mail：info@miyagi-npo.gr.jp

- 場 所：メディアデザインオフィス
(仙台市青葉区木町通1-1-11 朝日プラザ北一番丁1階)
- 定 員：各講座5名(申込先着順)
- 参加費：各講座2,000円
※当日会場にてお支払いください
- 申込方法：下記連絡先にTEL、E-mailで申込み
- 主 催：メディアデザイン
- 連絡先：TEL：090-3049-0613(千葉浩二)
E-mail：chiba@mediadesign.jp
URL：https://mediadesign.jp/

3/18 内閣府 青年国際交流事業 報告会&説明会(OB/OGから話を聞ける!)

「世界を体感！未来につながる経験を！」航空機・船による海外派遣事業があり、これまでも日本全国から多くの青年(18歳～30歳)が参加しています！(※地域コアリーダープログラムは23歳～40歳まで)報告会&説明会にぜひ気軽にお越しください！

- 日 時：3月18日(日) 10:30～12:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階研修室5
- 内 容：◆事業説明
本事業では意見交換やホームステイ、施設の視察等、国際的視野を広めるための貴重な経験ができます。本事業の派遣事業について、特徴を説明します。
◆帰国報告
宮城県から実際に本事業に参加した青年が、交流を通して学んだこと、感じたことをお話しします！
◆OB/OG相談カフェタイム
「もっと詳しく聞いてみたい!」「実際に参加してよかったことは?」気になることをぜひOB・OGに聞いてみてください。
- 申込方法：資料準備の都合上、【お名前】を下記E-mailまでご連絡いただければ幸いです。
★当日参加も大歓迎！入退場自由！
- 主 催：宮城青年国際交流機構(宮城IYEO)
- 連絡先：仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動センター #55
TEL：090-3128-6851(担当：田山)
E-mail：miyagi.iyeo@gmail.com

3/18 MIA日本語ボランティアセミナー

地域の日本語教室等での支援のあり方について考えること、また、参加者同士の意見交換・情報交換を通して相互の連携を図ることにより、それぞれの活動をより良いものとしていただくことを目的として開催します。関心のある方、是非ご参加ください。

- 日 時：3月18日(日) 13:00～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
セミナーホール
- 講 師：鈴木英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 内 容：①講義とワークショップ
「書くこと」の学習支援について考える
②懇談会
お茶とお菓子を囲んで、他の支援者の方々と
の情報交換、ネットワークづくり
- 定 員：60名(要申込み)

- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 主 催：公益財団法人宮城県国際化協会
- 連絡先：〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp

3/23 『息子が人を殺しましたー加害者家族 の真実ー』出版記念講演会

書籍の出版を記念し講演会を開催します。興味のある方はぜひご参加ください。

- 日 時：3月23日(金) 19:00～20:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 定 員：50名
- 参加費：無料(申込不要)
- 主 催：NPO法人World Open Heart
- 連絡先：TEL：090-5831-0810

3/24 仙台パープルデー 「知って安心 てんかんと就労」

てんかんへの正しい理解を呼びかけ、てんかんへの偏見をなくす国際的な啓発キャンペーンです。てんかんに関わる人たちが紫色のものを身に着ける運動で、てんかんのある人を孤立させないというメッセージが込められています。皆さんも、紫色のものを身に着けて、ぜひご参加ください。

- 日 時：3月24日(土) 13:00～
- 場 所：①ぶらんどーむ一番町特設会場
13:00～16:00
内容：てんかん啓発のセミナートーク
クイズ大会・伊達武将隊の演武など
②au sendai2階 イベントスペース
14:00～15:30(ぶらんどーむ一番町)
内容：セミナートーク「てんかんとは?」
中里信和氏(東北大学病院てんかん科)
パネルディスカッション「てんかんと就労」
- 参加費：無料
- 主 催：仙台パープルデー企画実行委員会
- 連絡先：事務局(東北大学病院てんかんセンター内)
TEL：022-717-7343 FAX：022-717-7346

3/25 平成29年度仙台市障害者スポーツ教室 春の水泳教室 ※初級者向け※

参加者のレベルに合わせて講師が丁寧に指導します。この機会にご参加ください！

- 日 時：3月25日(日) 9:00～10:30
- 場 所：仙台市新田東総合運動場(元気フィールド仙台)
温水プール
- 講 師：滝口義光氏(YAGOメディカルフィットネスクラブ)
- 対 象：仙台市在住または、通勤通学通所している身体・知的・精神障害者の方で水泳の初心者、未経験者
- 定 員：8名
- 参加費：500円(保険代含む)
- 持 物：水泳用具(水着・帽子・ゴーグル)、タオル、飲み物
- 申込方法：下記連絡先に、TELまたはメール、FAX(住所・

- 日 時：3月13日(火) 10:30～11:30
- 場 所：仙台市シルバーセンター 2階福祉用具展示室
- 講 師：介護研修室職員
- 定 員：15名(先着)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申し込み。
申込み時、参加希望講座名、氏名(ふりがな)、
TELをお知らせ下さい。
- 主 催：公益財団法人仙台市健康福祉事業団
- 連 絡 先：介護研修室
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2
仙台市シルバーセンター5階
TEL：022-215-3711 FAX：022-215-3718
E-mail：senkaigo@nifty.com

3/16 障害のある人の表現活動と著作権 「舞台芸術と著作権を考える」

演劇やダンスなど身体表現から作品を生み出して、発表する時、戯曲・台本、演出、振付、演技、ダンス、音楽、舞台美術、照明など、さまざまな人が関わって、クリエイティブな要素が加わっていきます。その時どんな著作権が発生しているのでしょうか。いろいろな事例を元に考えてみましょう。

- 日 時：3月16日(金) 14:00～17:00
- 場 所：せんだい演劇工房10-BOX box-3
- 講 師：辻哲哉氏(弁護士、NPO法人エイブル・アート・ジャパン理事)
- 対 象：舞台芸術に関わる人、アートと著作権基本編の参加者など
- 定 員：20名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。
申込み時、参加希望の講座名、お名前(ふりがな)、
所属・活動内容、ご住所(自宅以外の場合は団体
名まで)、TEL、FAX、E-mail、同伴者の有無と
サポートが必要な内容をお知らせください。
- 申込締切：3月9日(金)
- 主 催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
- 連 絡 先：TEL：070-5328-4208(武田)
FAX：022-774-1576
E-mail：soup@ableart.org

3/16 今から準備を！ NPOのための総会運営講座

NPOにとって総会とは、団体の方針や重要な事項を決める機関であり、応援してくれている会員に団体の活動や想いを伝える大切な場です。慌てずに総会に臨むために、この講座で総会に向けて準備すべきことを学びましょう！

- 日 時：3月16日(金) 14:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 内 容：・NPOにとって総会とは？
・準備から終了後の手続きまでのスケジュール
・伝わりやすい事業報告書や計画書の作り方
・総会当日の流れと終了後の手続き
・NPO法改正にともなう定款変更
- 対 象：NPO・市民活動団体のメンバー、スタッフなど
- 定 員：20名(申込先着順)

- 参 加 費：800円(税込)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp

3/17 介護の“お悩み持ち寄り相談会” 仙台市内の“つどい”

“つどい”は知恵の宝庫、参加して話すことから始めよう

- 日 時：3月17日(土)、4月21日(土)
13:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 内 容：介護家族の話し合い、語り合い
- 対 象：どなたでも参加できます。
会員資格の有無を問いません。
- 参 加 費：100円(資料代)
※事前申し込みの必要はありません
- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 連 絡 先：〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4
宮城県社会福祉会館2階
TEL・FAX:022-263-5091
※相談日 月～金 9:00～16:00・祝休日は除く
URL：http://www.miyagisibu-alz.org/

3/17 若宮丸漂流物語～日本人で初めて 世界一周した男たちの物語～ 『塩竈寒風沢の津太夫と左平』

今年2月から『石巻かほく』に掲載されている原作『我にナジュージダあり』の続編を津太夫・左平の故郷 塩竈の地で、ダメじゃん小出が早くもしゃべくりまくりです！

- 日 時：3月17日(土) 開演13:30～16:30(開場13:00～)
- 場 所：旧ゑびや旅館2階(塩竈市本町3-9 御釜神社前)
- 定 員：40名(先着)
- 参 加 費：前売り800円、当日900円
(お楽しみ抽選会・カフェ代込)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主 催：NPO法人NPOみなとしほがま
- 連 絡 先：TEL：090-4557-1671(カフェはれま)
TEL：022-364-0686(旧亀井邸)
URL：https://www.facebook.com/minato
shiogamaguide/

3/17 メディアデザインワークスタジオ

手に取ってもらい、見てもらえるチラシ、パンフレットなどの制作の基礎を学ぶと共に、PowerPointを使った印刷物デザインのテクニックを学びます。

- 日時内容：3月17日(土)
 - ①デザイン・レイアウトの基礎を学ぼう
時間：10:00～12:30 講師：眞山正太氏
持ち物：筆記用具
 - ②PowerPointで印刷物デザインをしよう
時間13:00～15:30 講師：千葉浩二氏
持ち物：PowerPoint2010以降がインストールされているパソコン

ただけます。

- 参加費：無料
- 申込方法：事前の申込みは、必須ではありませんが準備の都合上、ご連絡頂けると助かります。下記連絡先にTEL・E-mailでお申込み下さい。
- 主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://sendai-griefcare.org/

3/10 すんぷちよのダンスワークショップ オドリノタネ

赤ちゃんを連れて、家族で、カップルで、障害があってもなくてもどなたでも参加できるダンス？ワークショップです。ダンスの後に？が付くのはきっとみんなが想像するダンスとちょっと違うから。最初はゲームみたいだったのにいつのまにかダンスになってる？あなたのオドリノタネが目覚めます！

- 日時：3月10日(土)、3月17日(土) 10:30～12:00
- 場所：せんだい演劇工房10-BOX box3
- ファシリテーター：渋谷裕子氏
- 内容：音楽によって適度な運動でからだリフレッシュ！座ったままでもそれぞれのペースで大丈夫！
- 対象年齢や性別、障害の有無を問わず参加できます。
- 参加費：一般500円、高校生以下・障害者300円
ファミリー割800円(世帯を同じくする方何人でも)
※未就学児・ガイドヘルパー無料
- 持ち物：動きやすい格好で、飲み物、タオルなどをご持参下さい。
- 申込方法：初めてご参加の方は下記までご連絡下さい。
- 主催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：TEL：070-5017-5904
E-mail：sunp.yoyakumail@gmail.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

3/11 「人間の復興」は進んでいるか —それぞれの実践が問いかけるもの—

震災から7年。真の復興の姿が徐々に見え始めています。性別も年齢も超えた多様な復興の担い手の登場が、私たちに希望を与えてくれています。「人間の復興」へのきざしが見える今、

それぞれの実践に触れ、次なるステージへと歩みをすすめます。

- 日時：3月11日(日) 13:30～16:00
- 場所：エル・パーク仙台 スタジオホール
- 内容：・報告①「女性防災リーダー養成講座」の実践
小野寺彰氏(北仙台地区連合町内会会長)
・報告② 宮城野区岩切地区における「女性と地域防災」に関する調査
東北大学社会学研究室社会調査実習班
・スピークアウト「一人ひとりの実践」&交流会
- 定員：60名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 主催：NPO法人イコールネット仙台
- 連絡先：TEL：090-1398-5065(佐藤)
FAX：022-271-8226
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp

3/11 傾聴入門講座「傾聴ってなあに？」

聴いてもらいたい・聴いてもらったら元気になった…そんな経験はありませんか？つらい時や悲しい時、誰かに話を聞いてもらうだけでも心が軽くなる事があります。対等の立場で向き合い、相手の思いや気持ちに心を寄せて、耳を傾けて話を聴く。そんな聞き方「傾聴」について今、関心が高まっています。「傾聴ってなあに？」この機会に学んでみませんか？

- 日時：3月11日(日) 13:30～15:30
- 場所：仙台市福祉プラザ 10階第2研修室
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：〒981-1232 名取市大手町5-6-1
名取市市民活動支援センター内
携帯：070-2025-8200 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp

3/13 知って役立つ福祉用具講座 「認知症の方の生活を助ける 福祉用具を体験しよう！」

どんな用具があるのか、実際に触れて体験しよう。

縦覧申

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。下記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分 1月11日～2月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
石巻アーカイブ	石巻市	石巻地方の歴史的文化醸成と歴史的資料の継承に寄与する事業	1/11
River Aid Japan	富谷市	カンボジア王国での水上スポーツの普及を支援する活動	1/22

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分 1月11日～2月10日 仙台市所轄分 1月11日～2月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
みーつ	大崎市	障がい児通所支援事業、障がい者福祉サービス等	2/7
AOBA FC	青葉区	スポーツ・文化に関するクラブ運営事業 スポーツ・文化に関する教室運営事業 スポーツに関する指導者育成事業 他	1/11

宮城県のNPO法人数

821 団体

2018年2月10日現在

- 宮城県等所轄：409団体 ●仙台市所轄：412団体

この期間、宮城県を所轄庁として認定を受けたNPO法人

- NPO法人麦の会(宮城野区)

有効期間 平成30年2月1日から平成35年1月31日まで

- 募集主体：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL：022-375-3548(担当：吉澤)
URL：http://senmori.org

正職員募集

障がい児・障がい者の短期入所、共同生活援助施設での支援員を募集。定員は各4名で、小規模でアットホームな雰囲気施設の施設です。経験、資格の有無は問いません。

- 勤務時間：24時間体制(実働8時間)
※当直業務あり
- 勤務場所：宮城県富谷市
- 業務内容：障がい児、障がい者の生活支援、介助、余暇支援。
- 給与：月額145,000円～180,000円
資格給、当直手当、交通費(当社規定)別途支給
- 休日：週休2日(年間休日105日)
- 待遇：試用期間(3ヶ月)労働条件変更なし
社会保険完備、車通勤可能
- 申込方法：下記連絡先まで問い合わせ下さい。
- 募集主体：NPO法人幸創
- 連絡先：〒981-0134 宮城県利府町しらかし台6丁目1-10
TEL：022-356-7064
E-mail：kousouhonbu-9@sirius.ocn.ne.jp

事業案内



Honey Nap Cafe入会者募集中!

ハニーナップカフェは重心児・者の家族のための無料の会員制カフェです。コーヒーが無料で提供されます。"Nap"とは、「うたた寝」「うとうとする」を意味する英語で、"Honey"のように甘くくつろいだ時間を過ごしていただきたいという気持ちをこめました。3月10日(土)にはオープニングイベントを企画しています。イベントや入会ルールなどの詳細はHPをご覧ください。

- 利用日時：月曜日～金曜日 10:00～16:00
- 場所：仙台市泉区実沢中山北100-2
- 対象：重症心身障害児・者、または医療的ケア児・者の同居のご家族
※あいの実の利用者でなくても入会できます。
- 入会費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTELかHPの入会フォームから申込み。
※ご入会の方には会員証を発行し、初回利用時にお渡しします。
- 主催：特例認定NPO法人あいの実
- 連絡先：TEL：022-346-1730
URL：http://honeynapcafe.ainomi.org/

受講生募集

聴覚障害者の皆様、囲碁を習いませんか!!

参加しませんか! 習っている仲間達が歓迎いたします。

- 日時：4月2日(月)より毎月第1月曜日開催
- 場所：宮城県聴覚障害者情報センター 1階研修室
(仙台市青葉区本町3-1-6 本町第3分庁舎1階)
※HP「みみサポみやぎ」を検索!
- 対象：聴覚障害者 どなたでも(初心者歓迎)
- 参加費：500円(資料代)
※参加者全員に粗品を贈呈致します。
- 情報保障：手話有り
- 申込方法：下記連絡先にFAXで申込み。
※手話のできる会員も募集中です。
- 主催：囲碁将棋ボランティア
- 連絡先：FAX：022-298-0289(担当：土屋)

イベント



3月10日 3月～4月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

大切な人を亡くした方の「わかちあいの会」を宮城県内で開催しております。病死・事故死・自死・災害等、亡くなった原因は問いません。

- 日時場所：◆仙台会場【毎月第2土曜日】
3月10日(土)、4月14日(土)
時間14:00～16:30
場所：あしなが育英会仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- ◆石巻会場【毎月第3土曜日】
3月17日(土)、4月21日(土)
時間14:00～16:30
場所：石巻レインボーハウス1階
(石巻市中里2-2-3)
※3/17のみ、石巻グリーンサポート(前谷地)で開催予定
- ◆気仙沼会場【偶数月第4土曜日】
4月28日(土)
時間13:30～16:00
場所：気仙沼市地域交流センター
ワンテンビル内「交流室B」
(気仙沼市八日町1-1-10)
※会場のお問い合わせ、当日の出欠等の連絡は下記連絡先まで
- 対象：大切な方をなくされた方、どなたでもご参加い

会員募集

杜の伝言板ゆるるは「地域の課題を自分たちで解決しよう!」と取り組む市民活動団体をサポートするとともに、市民のみなさんが市民活動やボランティアに興味を持ち、参加しやすい環境づくりを進めています。活動の柱となる月刊誌は、20年を超えて毎月欠かさず発行してきました。これもみなさまの温かいご支援のおかげです。

これからも安心して暮らせる地域づくりのために、多様な情報発信と支援活動を続けていきますので、ぜひ会員として支えてください!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

2月15日までにゆるる編集部及びみやぎNPO情報ネットに届いた情報です。詳細は各情報の連絡先にお問合せ下さい。より詳しい掲載情報は右側のQRコードからご覧いただけます。



ボランティア情報



子どもたちにアートを届ける活動サポーター募集!

「アートによる心の応援!」を掲げ県内各地でアートプロジェクトを展開する『ARTS for HOPE』にて活動サポーターを募集します。子どもたちや高齢の皆さまへアートを届ける活動サポーターとして、私たちと一緒に笑顔の輪を広げて下さい!

- 活動日：随時相談
- 活動場所：ARTS for HOPE宮城事務所(ワンダーアートスタジオ)(仙台市若林区荒町172)または宮城県内の児童館、仮設住宅、災害公営住宅など。
- 活動内容：ワンダーアートスタジオ内でのプログラム補助、児童館や災害公営住宅でのプログラム補助、参加者(子ども・高齢者)のサポートなど。
- 条件：子どもや高齢者の皆さんに優しく接し、温かな時間をお届け出来る方。
※子どもに関わるお仕事、福祉業界経験者、育児経験者歓迎。
- 申込方法：下記連絡先へE-mailにてご連絡ください。追ってサポーターマニュアルと登録シートをお送りいたします。登録完了後に活動へご参加頂けます。
- 募集主体：ARTS for HOPE
- 連絡先：東京都千代田区外神田6-16-5
外神田ミヤマビル5階(担当：小松)
TEL：03-6240-1525 FAX：03-6240-1528
E-mail：artsforhope@gmail.com
URL：http://artsforhope.info/

- 日 時：曜日・時間は要相談
※子ども1名 40分程度の学習時間
- 場 所：アフタースクール：キッズベース内
- 対 象：小学校1年生～6年生を対象に算数を教えて頂ける方
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。
- 募集主体：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバーズピアワッセ2階(担当：加藤)
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：m-katou@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

児童館職員・児童クラブ支援員募集 春休み期間のアルバイトも同時募集

- ①小学校児童クラブでの支援員/放課後
- 勤務場所：A. 富谷市成田児童クラブ
B. 富谷市成田東児童クラブ
 - 勤務時間：12:15～19:15の内1日5時間
週4～5日勤務
 - 時 給：900円
 - 待 遇 等：交通費規定支給、研修制度あり、
社会保険有(法令に準ずる)
 - 休 日：日曜・祝日とその他平日1日、有休有
 - 資 格：幼稚園・教諭免許・保育士あれば尚可
- ②児童館職員
- 勤務場所：C. 仙台市新田児童館
D. 仙台市榴岡児童館
 - 勤務時間：12:30～19:30のうち
1日4～5時間、週4～5日勤務
1日5時間、週6日勤務
 - 時 給：900円
 - 待 遇 等：交通費規定支給、研修制度あり、
社会保険有(法令に準ずる)
 - 休 日：日曜・祝日とその他平日1日、有休有
 - 資 格：幼稚園・教諭免許・保育士あれば尚可
 - 申込方法：いずれも電話の上、履歴書(写貼)を郵送。
書類選考通過者には追って連絡します
※春休み期間のアルバイトも募集中です。詳細はお問合せ下さい。

有給スタッフ



算数の先生

民間児童クラブアフタースクール：キッズベースでは「学んで、鍛えて、創造して、毎日楽しい民間児童クラブ」をモットーにキッズベース内にて月曜～金曜に様々な習い事を行っています。キッズベースでは4月～新たに習い事に学習塾が加わります。子どもの分からないに対して一緒に考え頑張ってもらえる方を募集しております。

平成29年度宮城県
NPO等の絆力を活かした
震災復興支援事業

3/15「復興」の先を考えるミーティングin仙台 ～絆力を活かした震災復興支援事業報告会&交流会～

宮城県では、今年度実施している「NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」の成果を県民の皆さまへ報告するとともに、これからの復興を皆さまとともに考える機会を作るため、「『復興』の先を考えるミーティングin仙台」を開催します。
当日は国連が採択した「持続可能な開発目標」SDGsに関する情報提供も行います。参加費無料、当日参加も可能です。

日 時：3月15日(木) 10:00～17:00
会 場：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
参加費：無料
対 象：どなたでもご参加いただけます。

申込方法：下記連絡先にご連絡をいただくか、こちらの申込フォームよりお申込みください。
【申込フォーム】<https://goo.gl/44VUyt>
連絡先：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
TEL:022-791-9323 E-mail:npou@yururu.com
主催：宮城県 運営：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる





かほく「108」クラブ

かほく「108」クラブは、社会貢献活動の推進を目的として
河北新報グループ12社と、そこに働く従業員で構成し、
寄付を出し合って運営している任意団体です。

応募期間 3月1日(木)～3月31日(土)消印有効

対象団体 宮城県内で活動し、1年以上活動実績があり、
活動は非営利、公益的なものであること。(法人格の有無不問)

助成対象 子どもと共に、地域での成長を目指す活動
(例)「子どもの健全育成」「子育て支援活動」「いろいろな文化を通じた子どもの育成」など
※通算3回を限度とします

助成金額 1件10万円(上限)
(総額は100万円)

2018年度
かほく「108」ファンド受付開始
<http://blog.kahoku.co.jp/csr/>

かほく「108」クラブ事務局

〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 河北新報社総務広報部内

●TEL: 022-211-1402 ●FAX: 022-211-1448 ●E-mail: k108@po.kahoku.co.jp



助成金の申請を
受け付けます。



ろうきん 教育ローン

お子さまの未来を応援!
教育に関するさまざまな
お使いみちに。

カード型

最大引下げ後の適用金利

変動金利 年1.75%～年2.45%

以下の項目いずれかに該当する場合は、1項目につき年0.1%、最大年0.2%金利を引下げいたします。

- ①給与振込をご指定されている方
- ②財形預金もしくはエース預金をご契約されている方
- ③マイプランをご契約されている方
- ④住宅ローンをご契約されている方

※2017年10月1日から2018年3月末までにお申込みを受け、実行するご融資が対象となります。
※金利情勢の変動等により、お取扱期間中に適用金利を見直す場合があります。

お使いみち

入学金や授業料、仕送りなど、ご本人や
ご親族(2親等以内)の方の教育費用や
他金融機関の教育ローンのお借換えなどに

ご融資限度額 最高2,000万円

ご融資期間 最長20年

※カードローンのご利用については在学期間を
限度とし、最長7年以内となります。

●ご利用いただける方

①お申込時の年齢が原則満20歳以上、勤続年数1年以上、
前年の税込み年収が150万円以上の方。

②当金庫の審査基準を満たされる方。

●担保・保証:担保は不要です。当金庫指定の保証機関をご利用いただけます。
保証料は、カードローンご利用期間中は「年0.70%～年1.20%」です。
元利金返済期間中の保証料は当金庫が負担します。

※店頭でご希望に合わせた返済額の試算をいたします。

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
店頭に説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

2018年3月1日現在

お問合せ・お申込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ



生活応援バンク

ろうきん

東北労働金庫

☎0120-1919-62 受付時間

平日午前9時～午後5時

<http://www.tohoku-rokin.or.jp>